



令和3年11月30日

のびるほどっ子!

もっと ほっと ずっと



横浜市立保土ヶ谷小学校

「百聞は一見に如かず」

学校長 小川 克之

いよいよ12月を迎え、令和3年もあと1か月となります。新型コロナウイルスの感染者の数はかなり減少しておりますが、今年もコロナに振り回された年でした。

昨年度はコロナの影響で実施できませんでしたが、11月の2日から1泊で日光修学旅行に行ってきました。2日間ともに、良い天候に恵まれ、予定通り回ることができました。2か月ほど前までは、緊急事態宣言やまん延防止措置が国内各地で発出されており、修学旅行も行けるかどうかわからない状況でしたが、10月に入ってからかなり感染者の数も減り、制限が大幅に緩和され、2年ぶりの日光修学旅行を実施することができました。6年の保護者の皆様には、実施自体危ぶまれる中、ご準備等をしていただきましたことに厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

私自身、修学旅行の引率等で日光には20回以上足を運んでいますが、今年ほど紅葉がきれいだった年はなかったと思います。もちろん横浜に住んでいても紅葉は見られますが、特に輪王寺の裏にあるもみじの葉が真っ赤に染まっている風景には感動しました。テレビのニュース映像や新聞の写真報道等で、紅葉は何度も見ているのですが、テレビや新聞などでは伝わらないほどの色の鮮やかさが目に映えました。この年になってお恥ずかしい限りですが、生まれて初めて見た紅葉の美しさでした。また、感動も覚えました。

「百聞は一見に如かず」(=人の口から100回聞いても、自分の目で1回見るには及ばない。何度も聞いたことも、実際に見るのとは理解に大きな差がある。)とはまさにこのことだと思います。生まれて初めて見たときの後樂園球場の広さやカクテル光線のまぶしさ、歌舞伎座で見た歌舞伎役者の衣装や舞台装置、国技館で見た力士の体の大きさや力強さ・・・年月はかなり経っていますが、その時の感動は私自身何十年経過しても忘れてはいませんし脳裏に焼き付いています。

子どもたちも11月に入ってから、遠足や社会科見学等で校外に出かけることが多くなりました。もちろん初めて行く場所もあるでしょう。ぜひ自分の目でしっかりと見て、焼き付けてほしいと思います。そこから、新たな発見や感動が生まれるかもしれませんし、これからの学習のヒントや生きるために何か役立つものが得られるかもしれません。

「百聞は一見に如かず」のことわざの如く、見たり、聞いたり、感じたりしながら、これからも一つ一つの経験や体験を大切に教育活動を進めてまいります。

今年一年ありがとうございました。令和4年も保護者や地域の皆様にとりまして、素晴らしい年になりますようお願いしております。

今後も新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮しながら、教育活動を行ってまいります。変更や延期、中止もあるかもしれませんが、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。